

御用邸と ともに歩んで



「毎年、夏を那須で過ごす。六月に来たこともあるがごくわずかで、主として七月半ばから、九月のはじめまでである。それをしあわせとして、付近の自然を楽しむことにしている。」

生物学御研究所編『那須の植物誌』（1972年保育社）

昭和天皇による序文から抜粋